

2017年10月26日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
MCUBS MidCity 投資法人 (コード番号 3227)
代表者名 執行役員 土屋 勝 裕
URL : <http://www.midcity-reit.com/>
資産運用会社名
MCUBS MidCity 株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡 邊 豊 太
問合せ先 代表取締役副社長 鈴 木 直 樹
TEL : 03-5293-4150

投資口分割及び1口当たり予想分配金の修正に関するお知らせ

MCUBS MidCity 投資法人(以下「本投資法人」といいます。)は、本日開催の本投資法人役員会において、下記のとおり投資口の分割を行うことについて決定いたしましたので、お知らせいたします。

また、本分割に伴い、2017年8月15日付「平成29年6月期決算短信(REIT)」(以下「決算短信」といいます。)で公表しました平成30年6月期(第24期:平成30年1月1日~平成30年6月30日)の1口当たり予想分配金について、下記のとおり修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 分割の目的

本投資法人は、投資主価値の更なる向上に向けて様々な施策を検討しており、その一環として、この度投資口分割の実施を決定いたしました。少額投資非課税制度(NISA)の浸透等を踏まえ、投資口の分割によって投資口の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整備し、さらなる投資家層の拡大と投資口の流動性向上を図ることを目的としています。

2. 分割の概要

(1) 分割の方法

2017年12月31日を基準日として、同日の最終の投資主名簿に記載又は記録された投資主の所有する本投資法人の投資口を、1口につき、5口の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する投資口数等

①	分割前の本投資法人発行済投資口数	: 296,625 口
②	今回の分割により増加する投資口数	: 1,186,500 口
③	分割後の本投資法人発行済投資口数	: 1,483,125 口
④	分割後の発行可能投資口総口数	: 2,000,000 口 ^(注)

(注)現時点で発行可能投資口総口数に変更はありません。

(3) 分割の日程

①	基準日公告日	: 2017年12月14日(予定)
②	基準日	: 2017年12月31日 ^(注)
③	効力発生日	: 2018年1月1日

(注)東京証券取引所での権利付き最終取引日は2017年12月26日を予定しております。

3. 1口当たり予想分配金の修正について

(1) 修正の理由

投資口1口につき5口の割合をもって本分割を行うことに伴い、決算短信で公表しました平成30年6月期の1口当たり予想分配金を、投資口分割の割合に応じて修正するものです。

なお、今回の1口当たり予想分配金の修正は、本分割による発行済投資口数の総口数の増加に伴うものであり、運用状況の予想及び実質的な分配金の予想に変更はありません。

また、決算短信で同時に公表しました平成29年12月期(第23期:平成29年7月1日~平成29年12月31日)の1口当たり予想分配金については、本分割の効力発生日を平成30年1月1日とするため、修正はありません。

(2) 平成30年6月期(第24期:平成30年1月1日~平成30年6月30日)の1口当たり予想分配金の修正

	営業収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)
前回発表予想(A)	7,451	2,970	2,403	2,402
今回修正予想(B)	7,451	2,970	2,403	2,402
増減額(B-A)	—	—	—	—
増減率	—	—	—	—
【参考】平成29年12月期業績予想	7,615	2,973	2,388	2,387

	1口当たり分配金 (利益超過分配金は 含まない)(円)	1口当たり 利益超過分配金 (円)	期末発行済 投資口数 (口)
前回発表予想(A)	8,100	0	296,625
今回修正予想(B)	1,620	0	1,483,125
増減額(B-A)	△6,480	—	1,186,500
増減率	△80.0%	—	400.0%
【参考】平成29年12月期業績予想	8,050	0	296,625

(注1) 金額については単位未満を切り捨て、比率については小数第2位を四捨五入して記載しています。

(注2) 上記の運用状況の見通しの前提条件については、決算短信7ページ「平成29年12月期(第23期:平成29年7月1日~平成29年12月31日)及び平成30年6月期(第24期:平成30年1月1日~平成30年6月30日)運用状況の予想の前提条件」をご参照ください。

(注3) 本修正は現時点におけるものであり、今後の不動産等の追加取得又は譲渡、運用環境の変化等により、実際の営業収益、当期純利益、1口当たり分配金は変動する可能性があります。また、これらは実際の業績や分配金の額を保証するものではありません。

以上